



佐土原ロータリークラブ週報



会 長：佐藤 高 元 幹 事：太田 忍
 副 会 長：梶田 與之助 会報委員長：林 厚 雄
 会 計：村岡 博
 事 務 局：〒880-0211 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
 TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
 携 帯：090-9596-6114 吉野由里子
 例 会 日：毎週水曜日
 例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

11月29日プログラム予定・・・フォーラム「ロータリー財団」
 12月06日プログラム予定・・・ゲスト卓話

第953回 平成18年11月22日(水)

- 本日のプログラム
- 1. 点 鐘
 - 2. ロータリーソング
「我らの生業」
 - 3. 会 長 の 時 間
 - 4. 幹 事 報 告
 - 5. 会 員 卓 話
 - 6. 点 鐘

何も会員に代わって他人への奉仕を実際に行うことではないのです。この考え方がシカゴクラブが提唱した個人的、精神的奉仕の考え方であり、ここから自分の職業を大事にする職業奉仕が生まれたのです。

しかし、どうもそういう考え方が会員個人に自覚され難かったり、また敬遠されたために、職業奉仕の実践は委員会任せになってしまったのであります。

そのためここ40年くらいの間、RIの中の「職業奉仕委員会」は、ただ冊子の出版や「従業員表彰」「職業相談」だけの推奨をする休眠状態になってしまったので、1989年、新たに「職業宣言」を発表して、職業奉仕は個人と委員会の協力によって行われるべきものとしたのであります。しかし、元々職業奉仕は個人の職業奉仕が根本であったことは言うまでもありません。

第952回の記録 平成18年11月15日
 ★ 会長の時間 梶田 與之助 君
 本日は佐藤会長が欠席で副会長の私に依頼がございましたので、簡単なお挨拶をさせていただきます。

先程は宮原会員のご協力とご理解により、セルフガソリンスタンドの職場訪問をさせて頂きまして、厚くお礼申し上げます。

佐土原町内では初ということで、私も一度だけ利用したことがあります。まったく覚えておりません。今回は指導を受けながらマスターしたいと思います。

職場訪問とは、会員の職場又は他の職場を訪問し、異業種との交流の場として研鑽につながると思います。

ロータリーの職業奉仕活動はクラブの職業奉仕委員会が行うものではなく、クラブ会員個人が行うものであります。つまり、各人が真面目に自己の職業をやり通して商売相手、顧客に思いやりを尽くすことが最も大事であり、委員会は奉仕の考え方や仕事上の倫理を賞揚し指導するのが基本であります。



シーサイドタウンにあるセルフGS「シミズ」

★ 幹事報告

太田 忍 君

例会変更のお知らせ

※小林ロータリークラブより

平成18年11月29日(水)の当クラブの例会は「夜間例会」から「通常例会」

また12月27日(水)は「夜間例会」となります

☆11月9日に行われましたGSE佐土原クラブ観光研修等は無事に終了いたしました。



職場訪問の後は久峰公園の展望台で昼食

また、パキスタンでも、国家ポリオ・プラス委員会が、感染の恐れのある地域を対象に、ラジオを通じてポリオ撲滅活動のメッセージを伝えています。

バングラデシュとネパールでは、インドからのウイルスのよって再感染するまでは、ポリオのない国でしたが、保健担当員やボランティアがこれを一時的なものにするため奮闘しています。

国家ポリオ・プラス委員長は「困難はあるが、政府と国際ロータリーによる支援によって撲滅への意志を固めることができます」と述べています。

★『友』インターネット速報

NO 257

恒久基金が5億ドルを超える9月、世界中のロータリアンからの献身的な支援によって、ロータリー財団の恒久基金の総額が、5億米ドルを超えました。

1982年に創設された恒久基金は、すべての財団プログラムに向けて資金を提供し、財団の将来にとっての安定した財源となっています。とりわけ、1994年以来、その資金は6倍になり、昨年度では、元金はそのままで、プログラムに拠出できる収益は490万ドルを計上しました。

恒久基金は、創設当初から、資金を必要としている人々に貢献し、ロータリーの主要な目標を実現へと近づけてきました。2002年に発足した国際研究のためのロータリー・センタープログラムは、その顕著な例です。

恒久基金の次なる目標は、2025年までに10億ドルを達成することです。そのとき、プログラムの資金は現在の10倍となり、世界に貢献する規模も拡大します。

★『友』インターネット速報

NO 256

「南アジアで新たなポリオ撲滅活動」

世界でポリオが残っている南アジアで、新しいポリオ撲滅活動が展開されています。

インドでは、発症がウッタープラデシュ州に集中していますが、これは経口ワクチンが汚染されているとのうわさが広まり、特に貧しいイスラム家庭でワクチンが拒否されたことによるものです。

そこで、国家ポリオ・プラス委員会は、首都・デリーでイスラムの学者や地域リーダーたちを招いて会議を開き、ワクチンを受けに来るよう呼びかけてほしいと説得。報道機関にも訴えました。

～ MEMO ～

出席状況 第949回 平成18年10月25日

会員数	31名	欠席者数	10名
出席者数	21名	メイクアップ	3名
出席率	67.0%	修正出席率	77.0%

言動はこれに照らしてから

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか